

ハピリン開業1年後における 来場者実態調査

平成29年5月

まちづくり福井(株)

I 調査の概要

1. 調査目的

ハピリン開業から1年が経った状況での来場者の特性や行動を把握することにより、今後のまちづくりの参考とする。

2. 調査期間

平成29年4月29日(土)、5月3日(水)、4日(木)、5日(金)の4日間

3. 調査対象・調査方法

調査期間中にハピテラス1周年イベント「ふくいお肉マルシェ」の来場者に対して聞き取り調査を実施

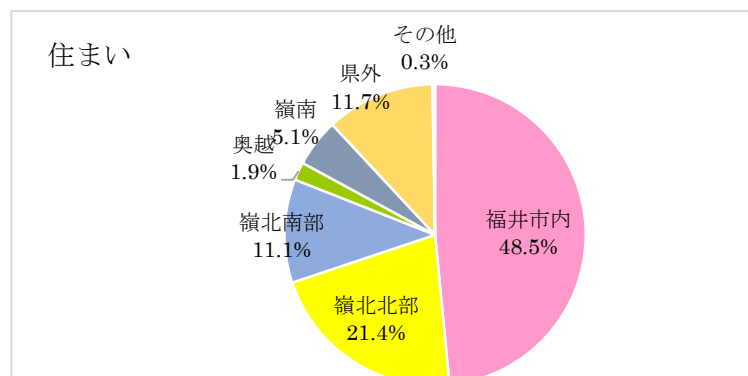
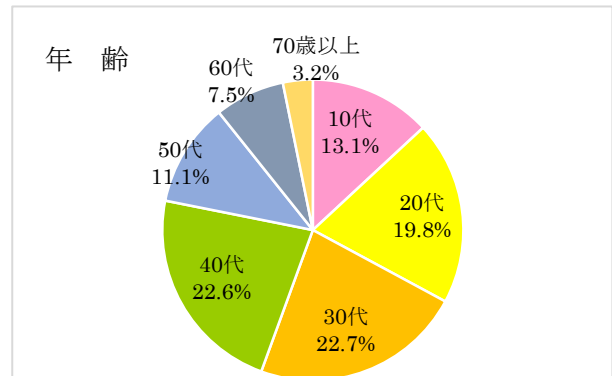
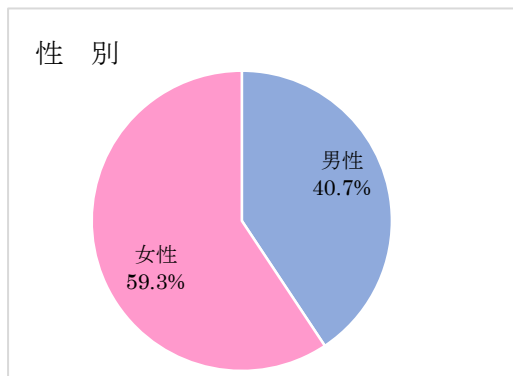
4. 調査実施機関

まちづくり福井株式会社

5. 回収

726人

6. 回答者属性



7. 調査結果概要

ハピリンのオープンから1年が経過したところだが、ハピテラスやハピリンホールでは継続してイベントが開催されている。こういったイベントにこられる方の **8割以上が複数回にわたって足を運んでおり** 中心市街地への来街が定着しつつある。「初めて」来場したという回答は、住まい別では「嶺北南部」、「嶺南」が、年代別では「20代」「30代」が多くなっており今後の集客に余地が残る。

また、ハピリンでのイベント来場者の約8割がハピリン内の1～2階の商業店舗に立ち寄っており、ハピリン以外では西武福井店（新館含む）、アオッサ、プリズム、映画館といった大型施設に立ち寄っているものの、商店街の個店への立ち寄りはい少ないことがわかった。昨年の調査と比較すると個店への訪問割合は全体で4.2ポイント増加しており、**ハピリンからまちなかへの回遊が進み個店に立ち寄る頻度も若干増えてきた。**

ハピリンができてからの**駅前に来る頻度は約4割が増えた**と回答しており、来街目的もハピリンのイベントと回答する割合が7割以上と、ハピテラスやハピリンホールでのイベントが果たす街への集客機能は一定の成果を挙げている。特に奥越や嶺南など遠方からはハピリンでのイベント目的で来るように変わったという回答が8割以上あり、**広域からの集客においてきっかけをつくること**ができた。

駅前での滞在時間について、平成28年1月の調査では1～2時間未満の滞在が33%で最も多かったが、今回の調査では2～3時間未満が40%と最も多くなり、回答結果からは**1時間までの幅で長く滞在**するようになった。これはやはりハピリンでの滞在時間が増えた結果と思われ、滞在時間の増加にも効果を上げる結果となった。

駅前での消費金額については、2千円～4千円が約40%で最も多く、6千円未満とする回答の合計が84%となった。これを平成24年9月の「消費者購買動向調査」と比較すると、前回最も多く回答された予算は4千円～6千円未満が約19%となっており、1万円～2万円という回答も約15%あった。調査方法の違いもあるため一概には断定できないが、高額な買い物をしなくなっている可能性もある。

Ⅱ 調査結果

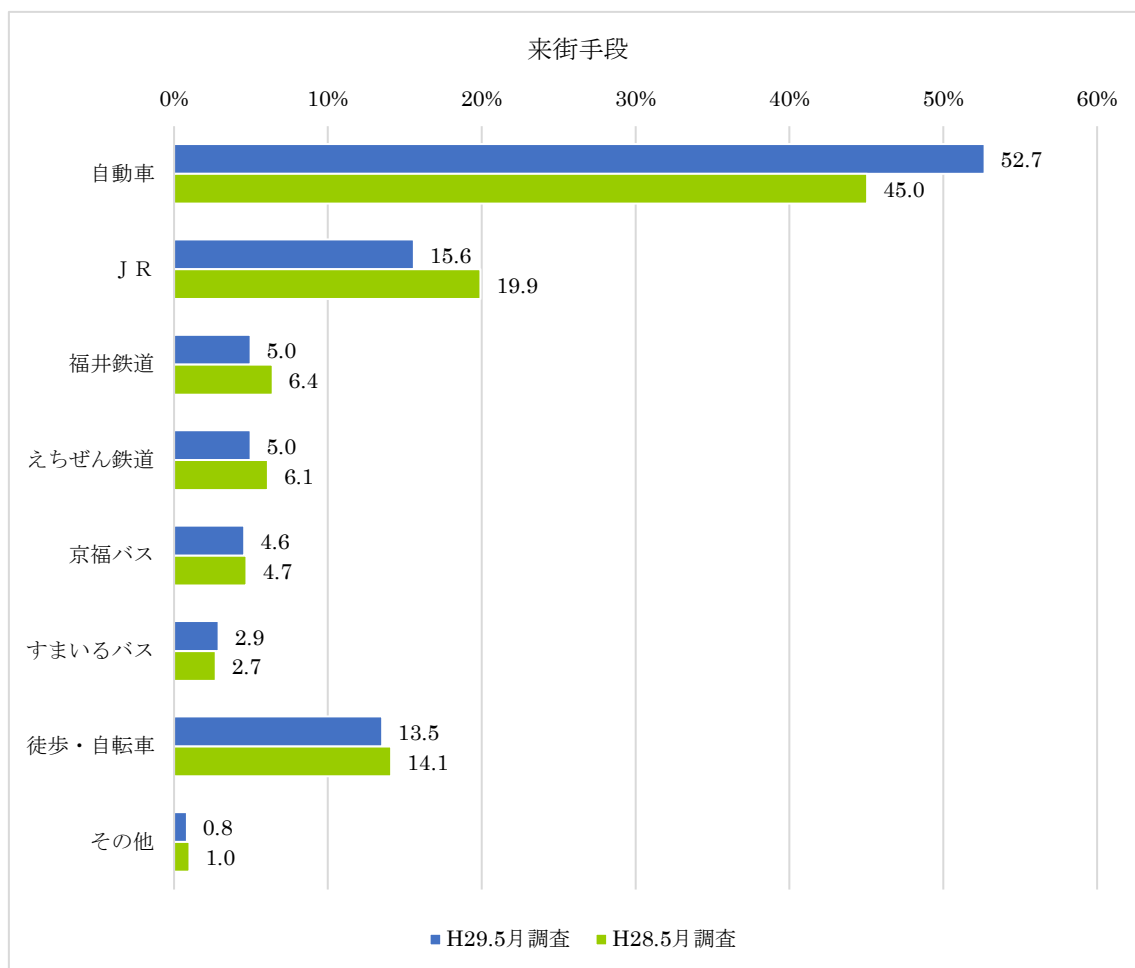
1. 来街手段

自動車が5割以上を占め52.7%。公共交通全体の利用は33.1%となり、昨年の39.8%から6.7ポイント減少。

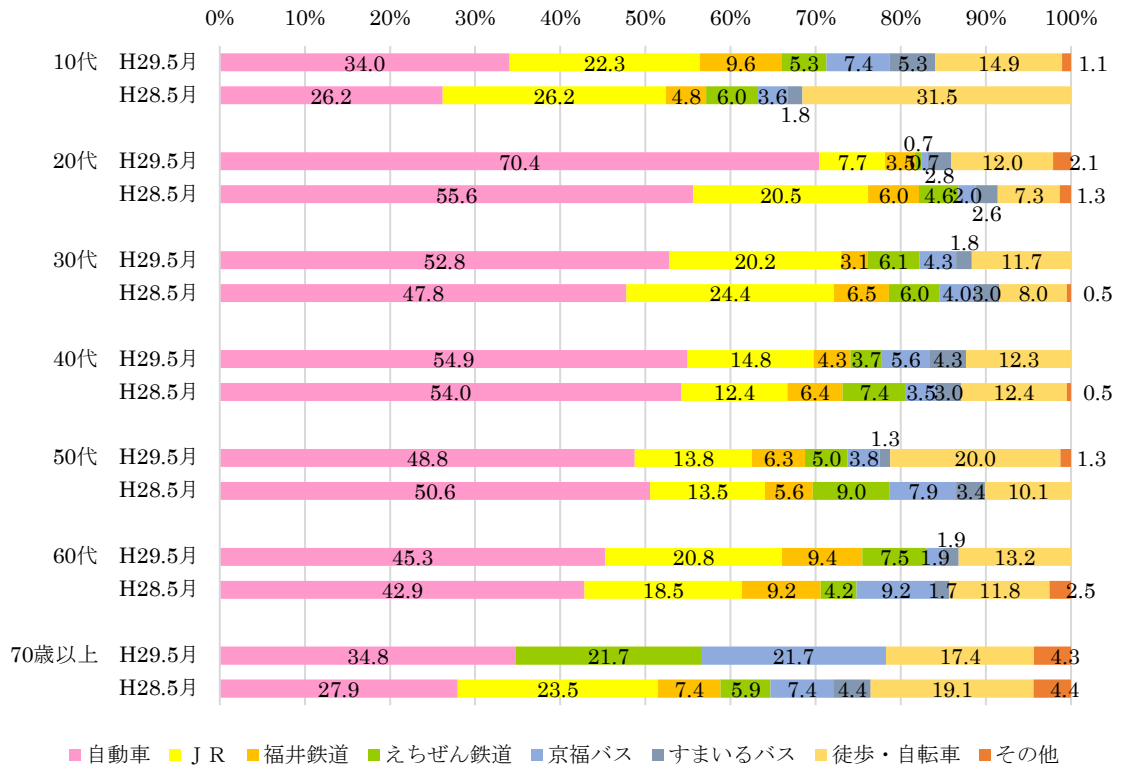
自動車が52.7%と最も多く、次いでJRが15.6%、徒歩・自転車が13.5%となっている。自動車については、昨年の調査時と同様に1番多く、昨年調査時の45%から7.7ポイント増加した。公共交通(JR・福井鉄道・えちぜん鉄道・京福バス・すまいるバス)の利用は33.1%となっており、昨年の39.8%から6.7ポイント減少した。

また、年齢別にみると20代における自動車での来街は今回調査時では70.4%となり、昨年の55.6%から14.8ポイント増加した。

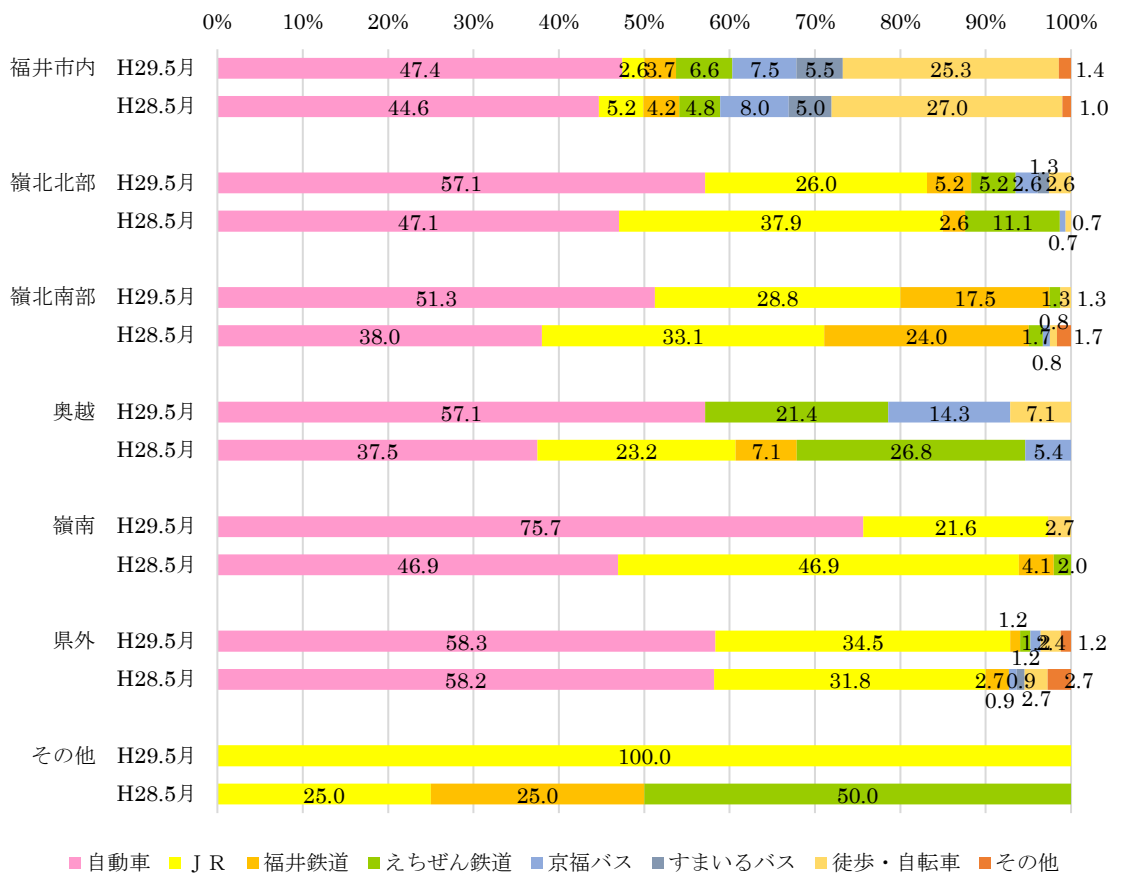
更に住まい別にみると、嶺南(敦賀・小浜エリア)からの自動車での来場は今回調査時は75.7%となり、昨年の46.9%から28.8ポイント増加した。



来街手段 【ハピリンオープン来街者調査結果（H28.5月調査）との比較】



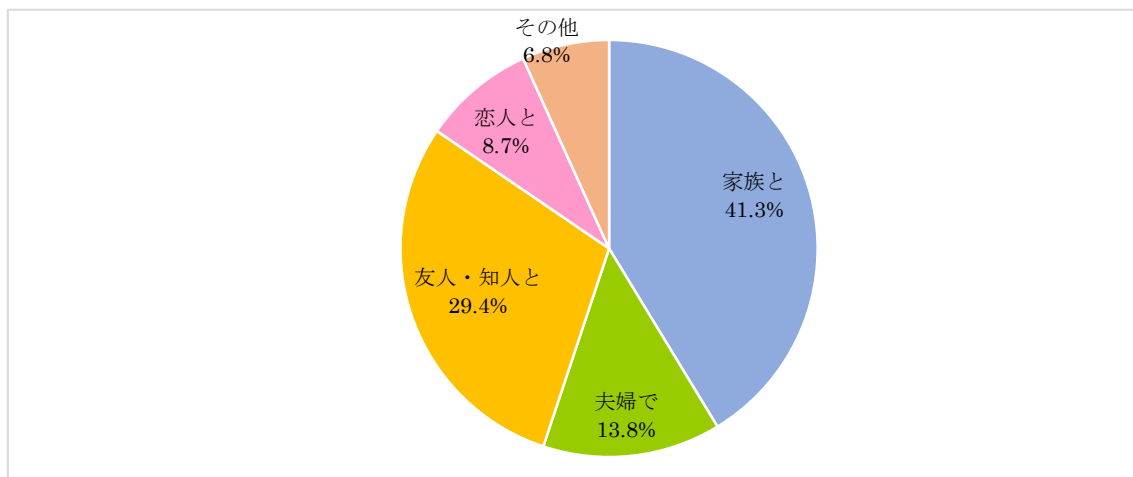
来街手段 【ハピリンオープン来街者調査結果（H28.5月調査）との比較】



2. 誰と来たか

ゴールデンウィーク中だったこともあり、家族と来場が多く 41.3%。

家族と来場が 41.3%と最も多く、次いで友人・知人と来場が 29.4%、夫婦で来場が 13.8%となった。調査期間がゴールデンウィークだったこともあり、家族での来場が目立った結果となった。尚、その他の項目については 1 人で来場という回答が多かった。

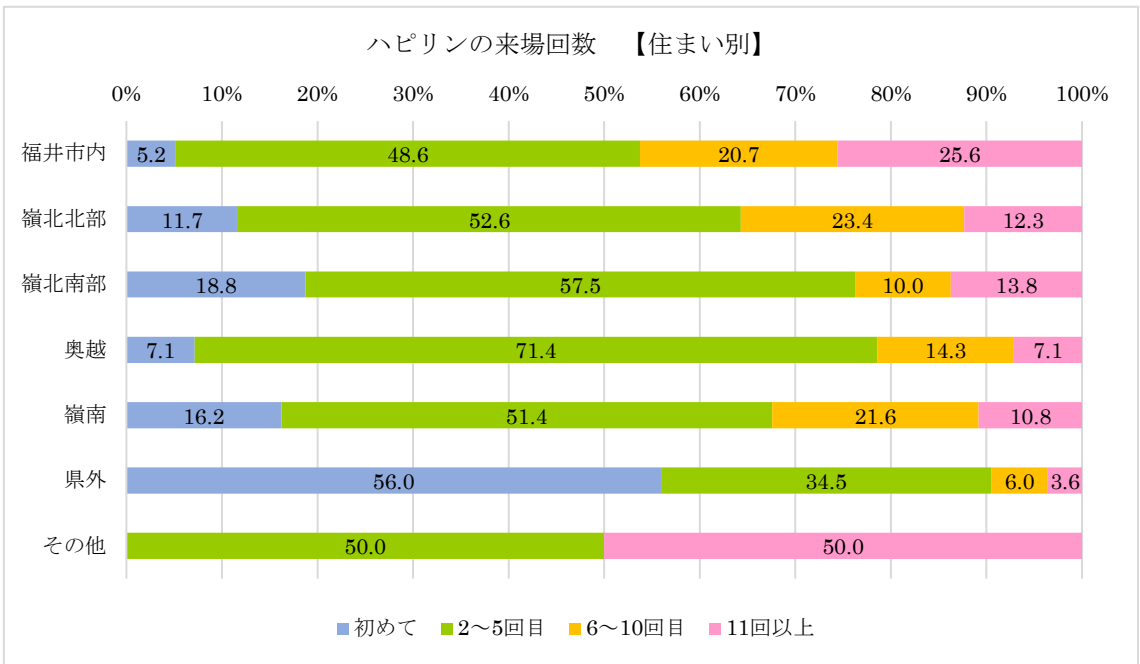
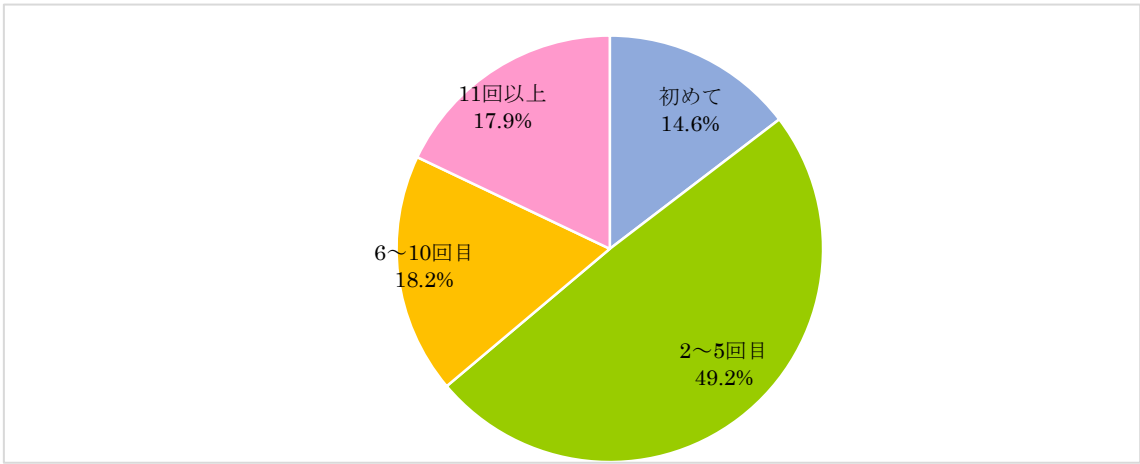


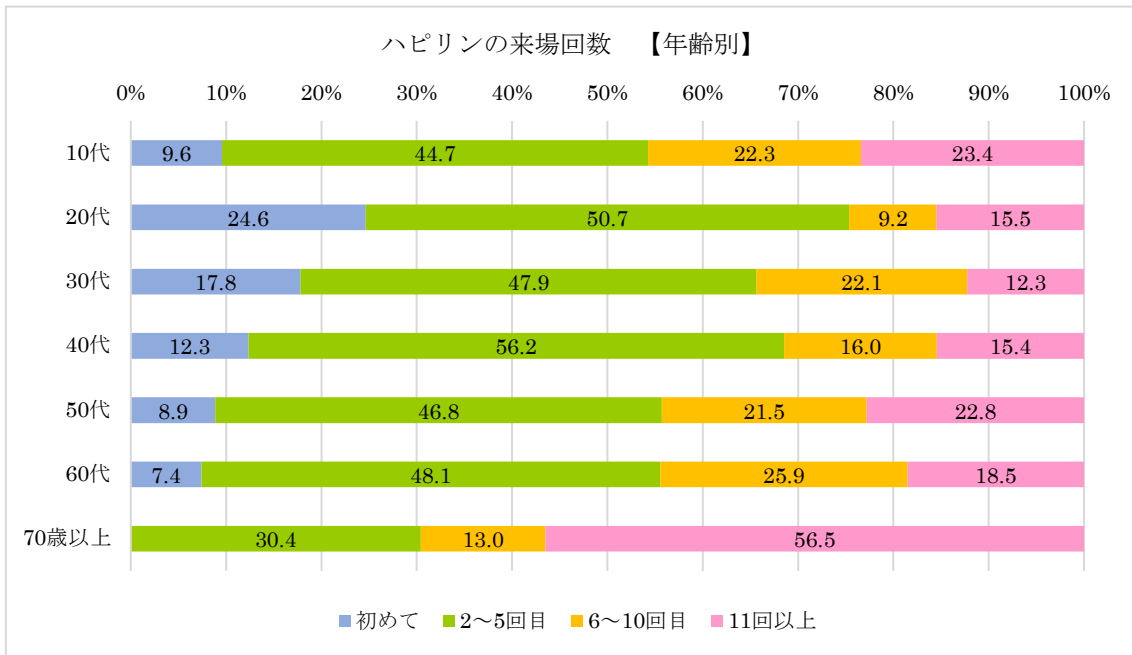
3. ハピリンの来場回数

「2～5 回目」が約 5 割を占め 49.2%。2 回以上の来場者は合計で 85.3%。

2～5 回目が 49.2%と最も多く、次いで 6～10 回目が 18.2%、11 回以上が 17.9%となっている。2 回以上の来場者は合計で 85.3%となっており、リピーターが全体の 8 割以上を占めた。

また、住まい別にみると県内からの来場者は 2～5 回目という回答が最も多く、特に福井市内からの来場者については 6 回目以上という回答が 46.3%で、2～5 回目の回答と合わせると 94.8%となり、福井市内からの来場者の 9 割以上が 2 回以上ハピリンに来場したという結果になった。更に年齢別にみると、11 回以上来場したという回答が 70 歳以上で 56.5%となっており 5 割以上を占めている。

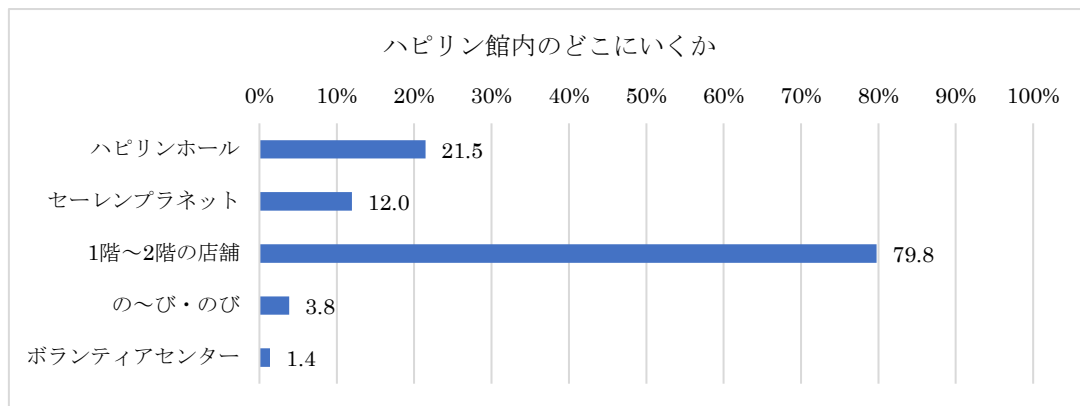


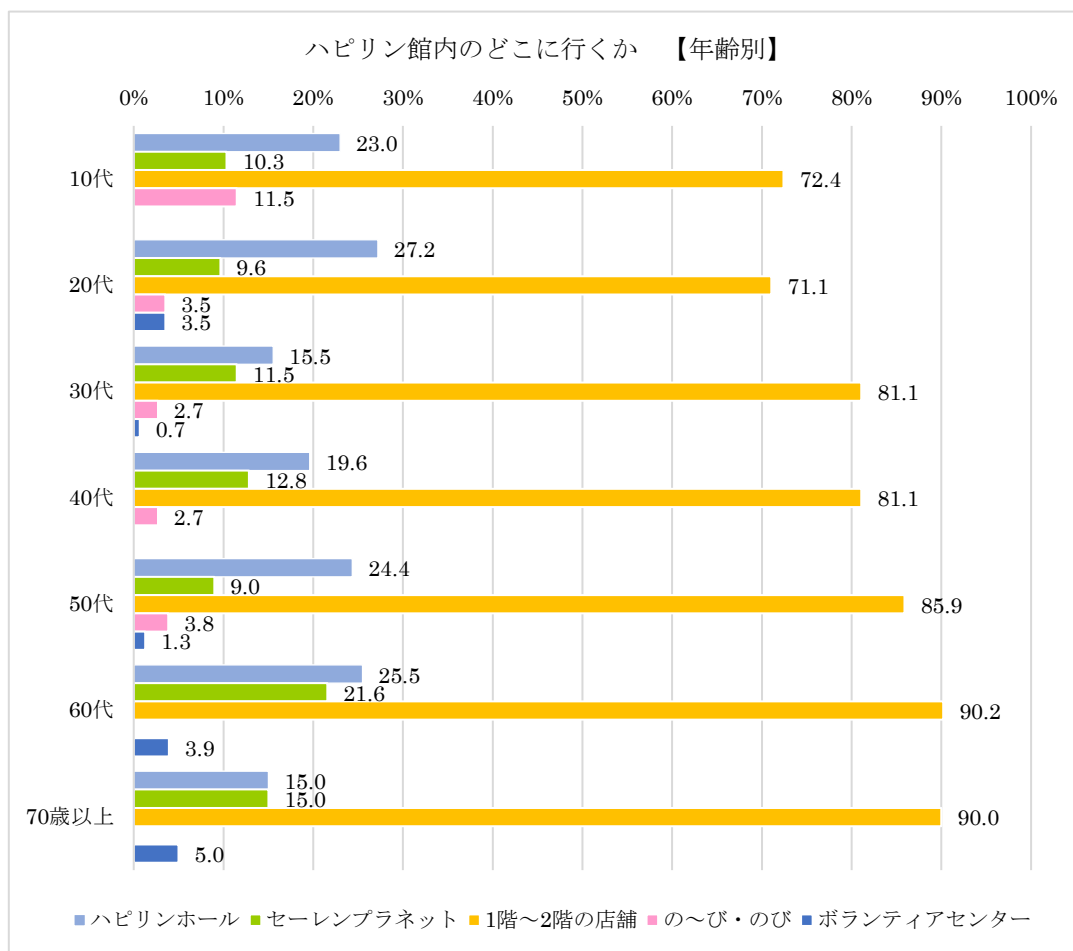


4. ハピテラスのイベント以外でハピリン館内のどこに行くか

「1階～2階の店舗」が約8割を占め79.8%。続いて「ハピリンホール」が21.5%、「セーレンプラネット(プラネタリウム)」が12.0%。

1階～2階の店舗が79.8%と最も多く、次いでハピリンホール(クラフト体験フェアを開催中)が21.5%、セーレンプラネット(プラネタリウム)が12%であった。1～2階の店舗という回答が全体の約8割を占めており、年齢別にみても全年代において7割以上が1～2階の店舗と回答している。



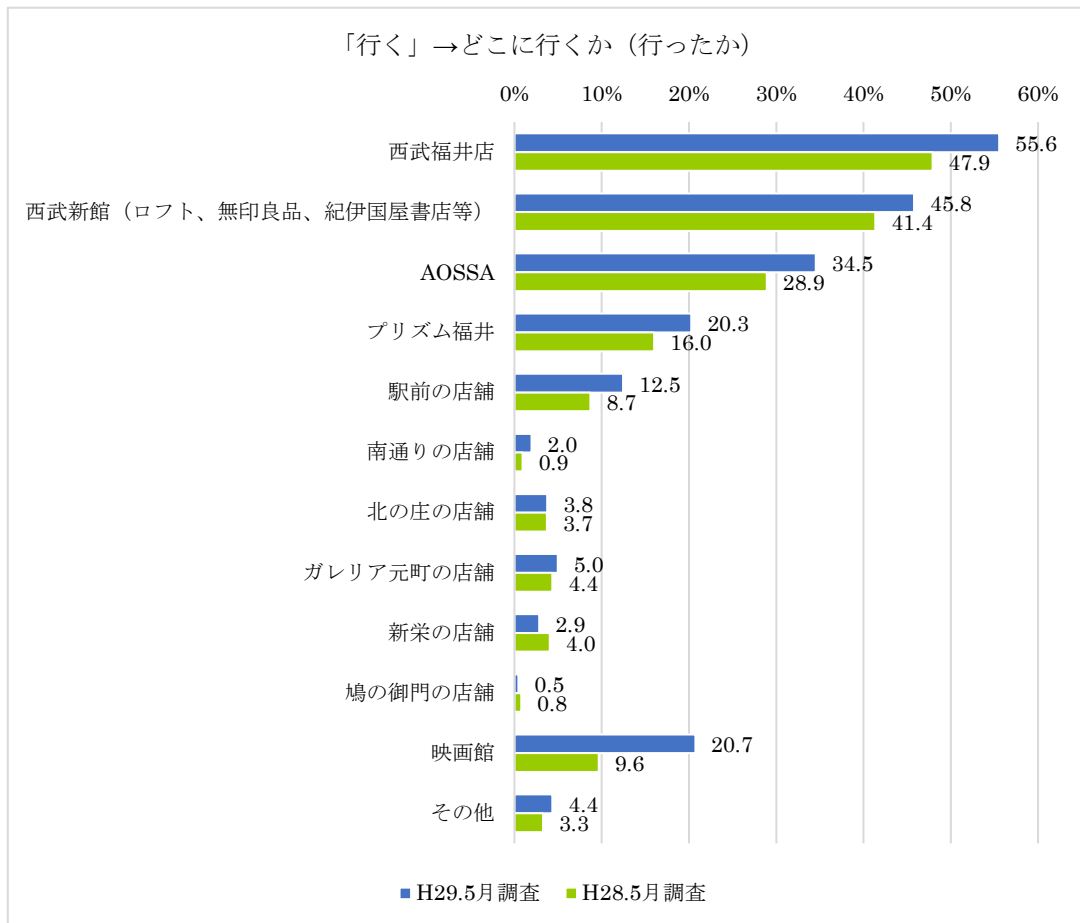
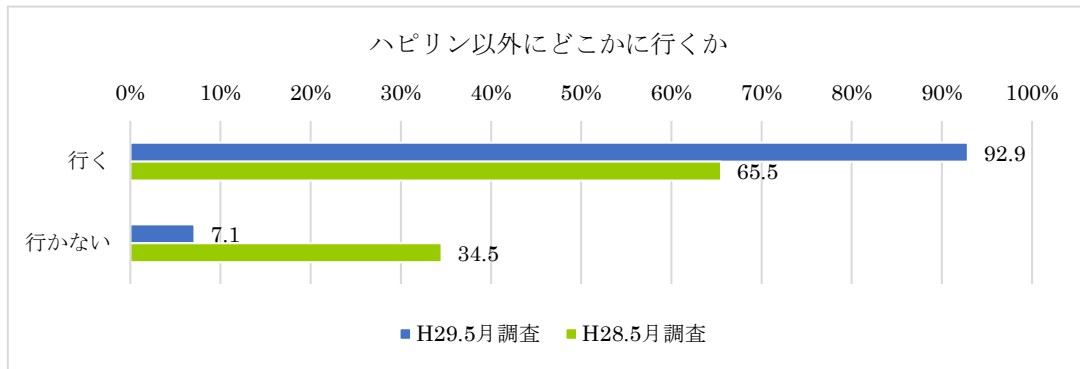


5. ハピリン以外に駅前のどこに行くか（行ったか）

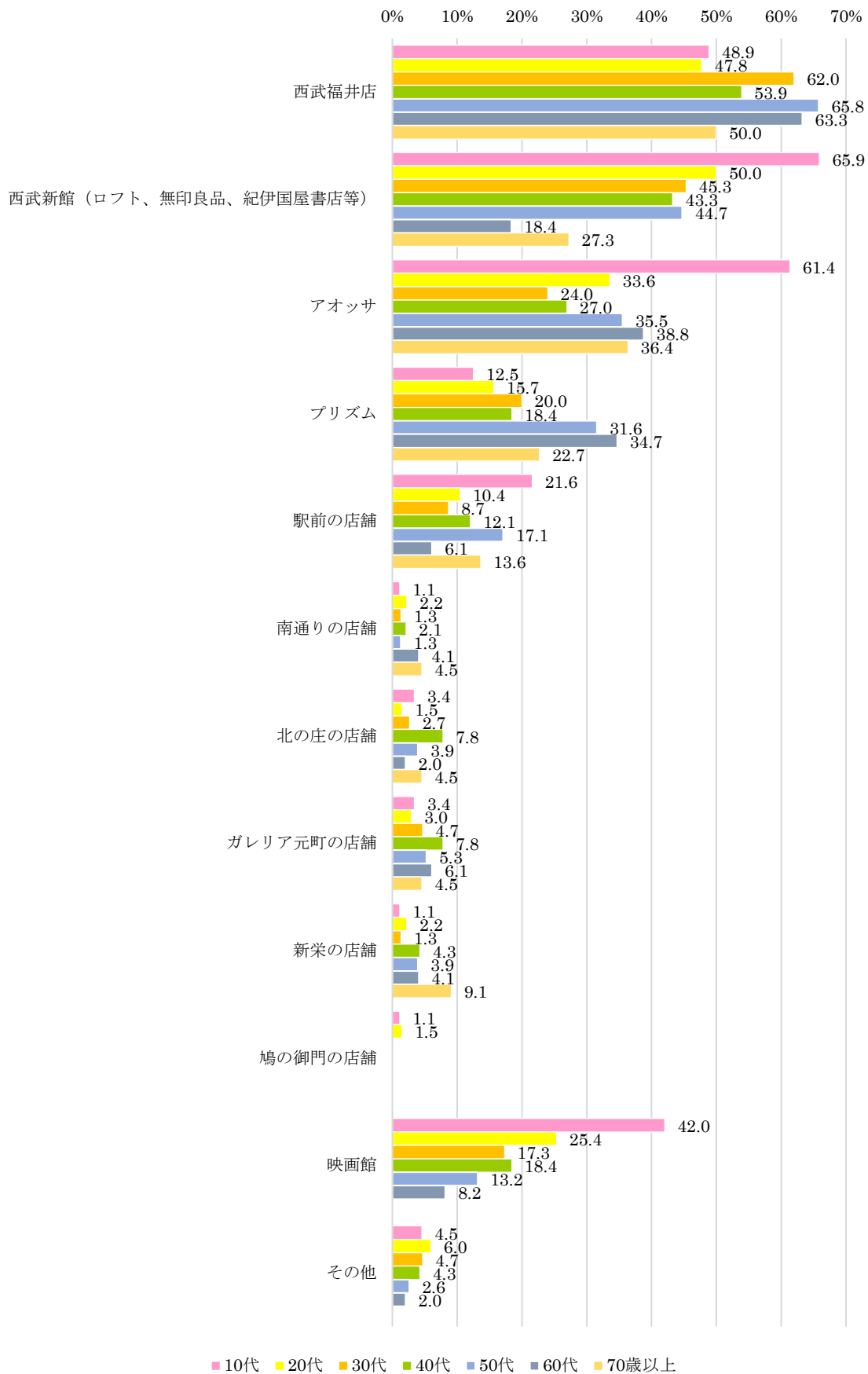
「行く」が9割以上を占め92.9%で昨年調査時より27.4ポイント増加。

どこに行くかは、「西武福井店」が55.6%、次いで「西武新館」45.8%、「AOSSA」34.5%。商店街の店舗は合計で26.7%。

「行く」が92.9%で9割以上を占めており、昨年調査時の65.5%より27.4%増加した。「行く」と回答した来場者の内、西武福井店が55.6%と最も多く、次いで西武新館が45.8%、AOSSAが34.5%、映画館が20.7%となっている。尚、昨年調査時と比較すると訪れる商業施設は同じ傾向であった。また、商店街の店舗(駅前・南通り・北の庄・ガレリア元町・新栄・鳩の御門)に訪れる割合は合計で26.7%となっており、昨年調査時の22.5%より4.2ポイント増加した。更に年齢別にみると、10代の来場者は西武、AOSSA、映画館に行くという傾向が顕著であった。



「行く」→どこに行くか（行ったか） 【年齢別】

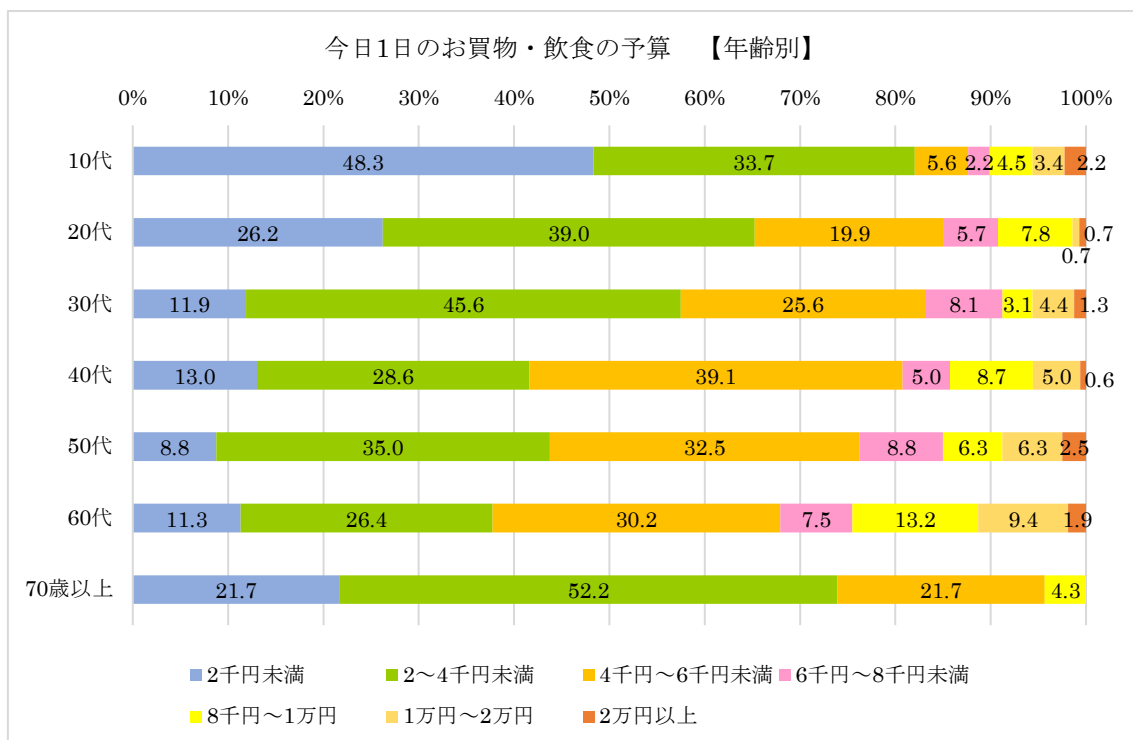
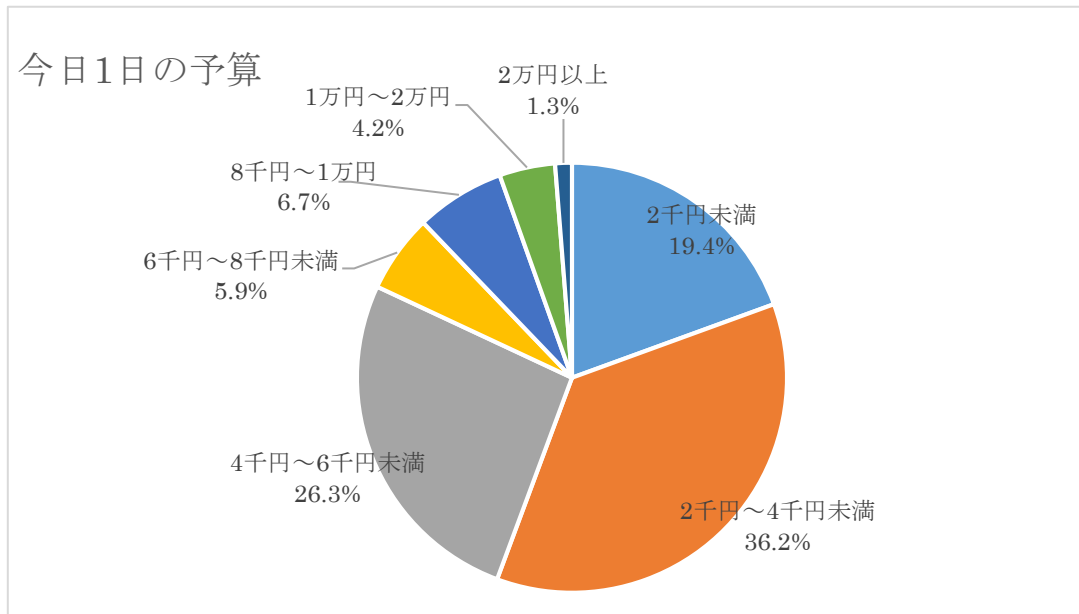


6. 今日1日の買物、飲食の予算について

「2千円～4千円未満」が36.2%。6千円までという回答が合計で8割以上を占めた。

2千円～4千円未満が36.2%と最も多く、次いで4千円～6千円未満が26.3%、2千円未満が19.4%となっている。調査期間中はハピテラスにおいて「ふくいお肉マルシェ」を開催しており、家族連れの来場者が多いことから、2千円～6千円未満の回答が多かった事が見受けられる。

また、年齢別にみると70歳以上の来場者は2～4千円未満という回答が52.2%で5割以上を占めた。

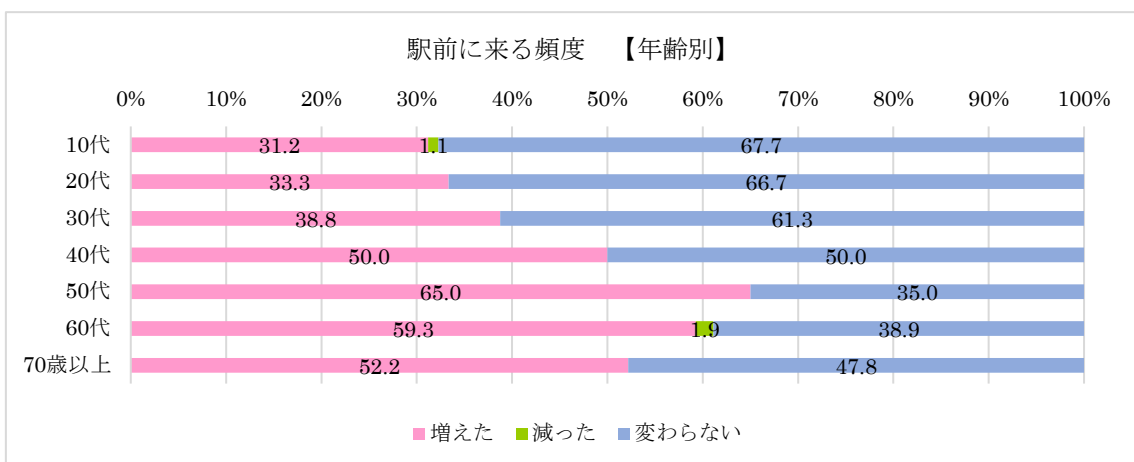
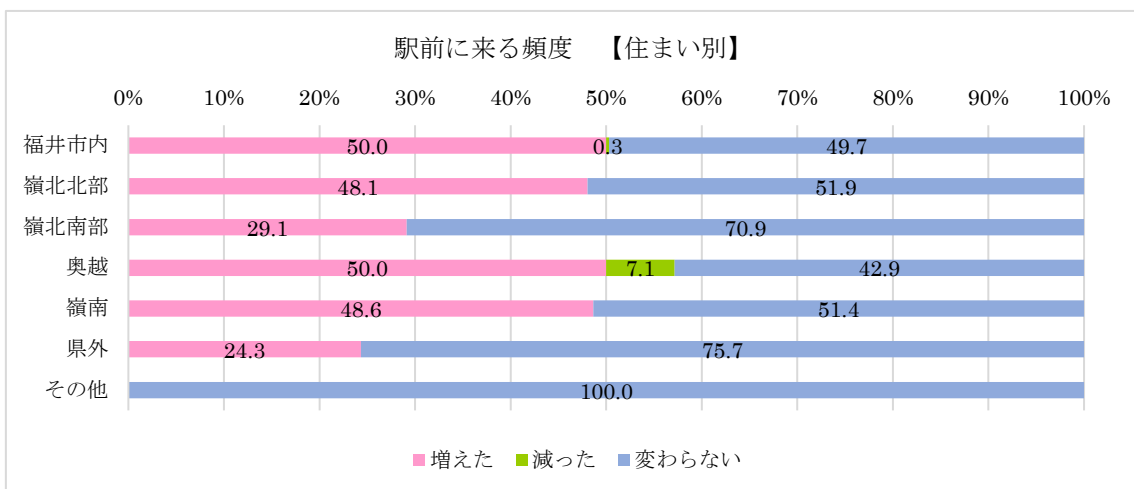
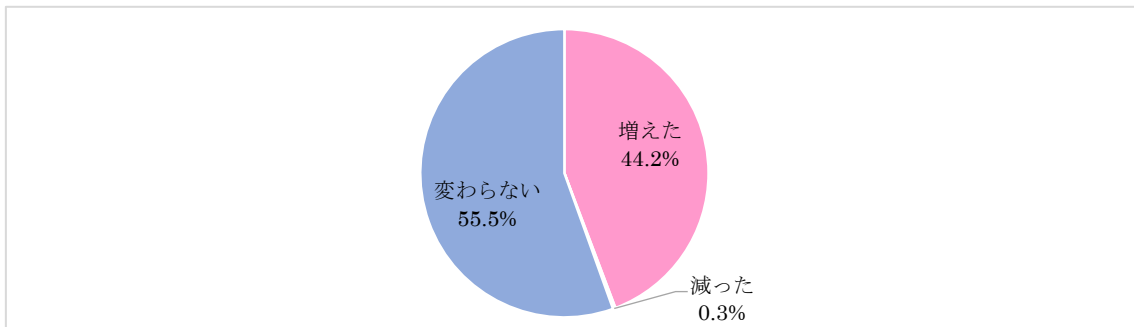


7. ハピリンが出来たことで駅前に来る頻度について

「変わらない」という回答が55.5%と多いが、「増えた」という回答も44.2%と4割を占める。「減った」という回答はわずか0.3%。

変わらないという回答が55.5%と最も多く、増えたという回答は44.2%であった。逆に減ったという回答はわずか0.3%だけであった

また、住まい別にみると福井市内と奥越(勝山市・大野市エリア)は増えたという回答が50%となっており、嶺北北部(坂井市・あわら市エリア)は48.1%、嶺南(敦賀市・小浜市エリア)は48.6%といずれも約5割を占めている。尚、県外からの来場者については24.3%が増えたという回答であった。また年齢別にみると増えたという回答は50代で65%となっており、全年代で1番高い割合となっている。



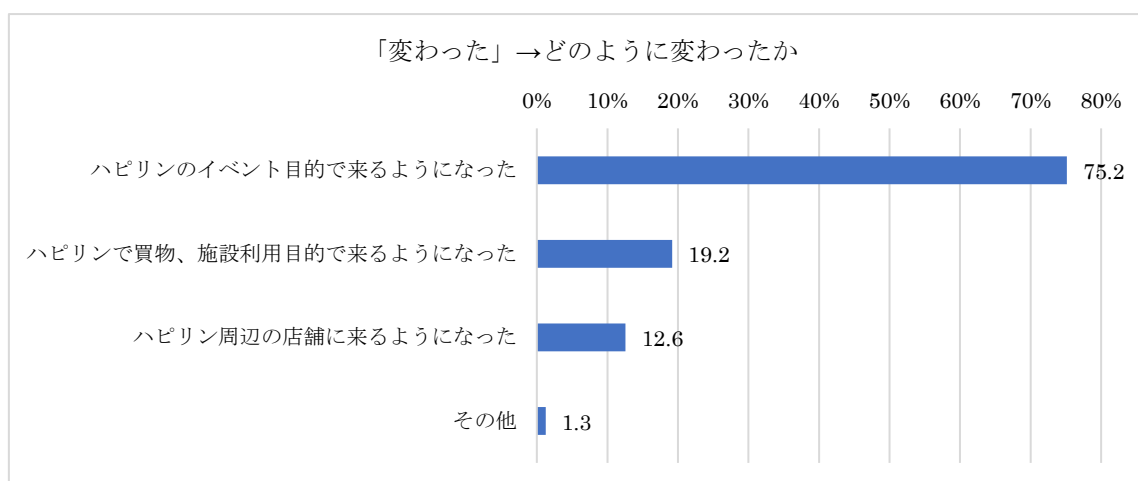
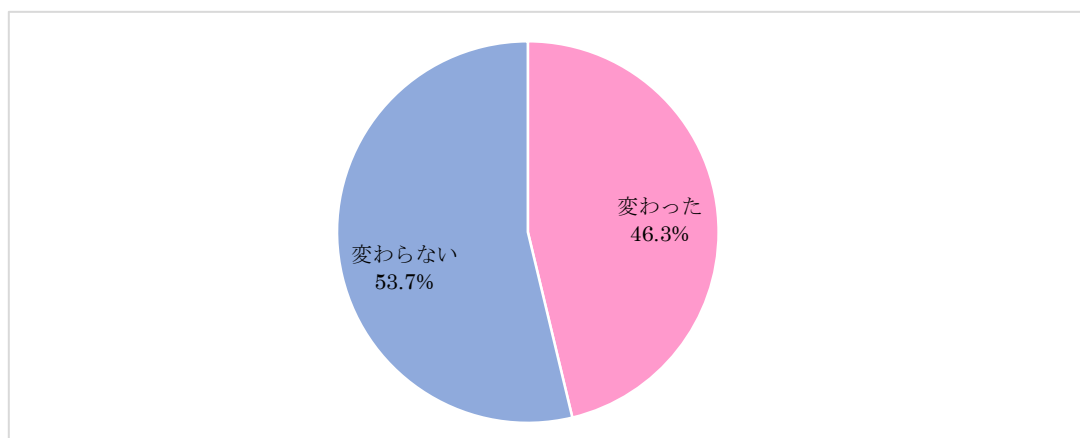
8. ハピリンが出来たことで駅前に来る目的は変わったか

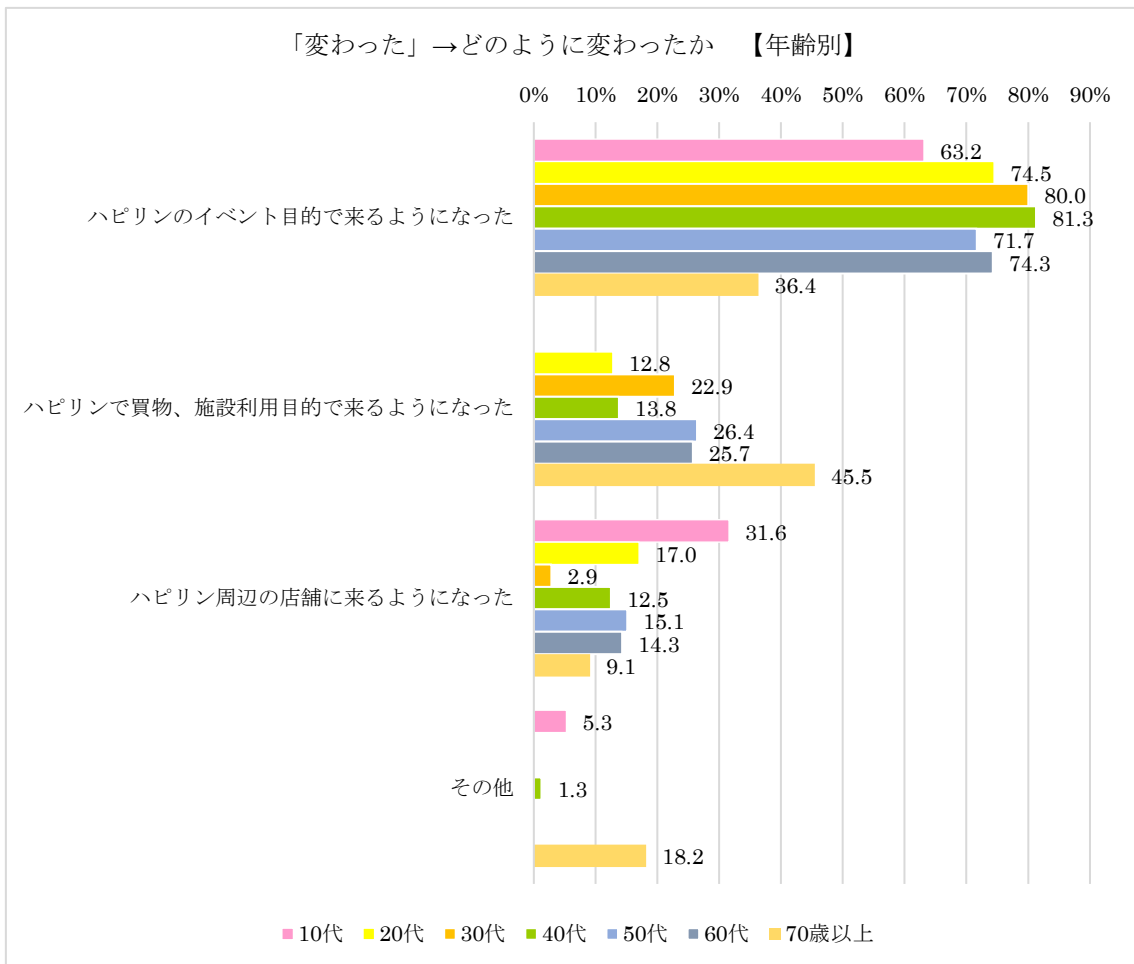
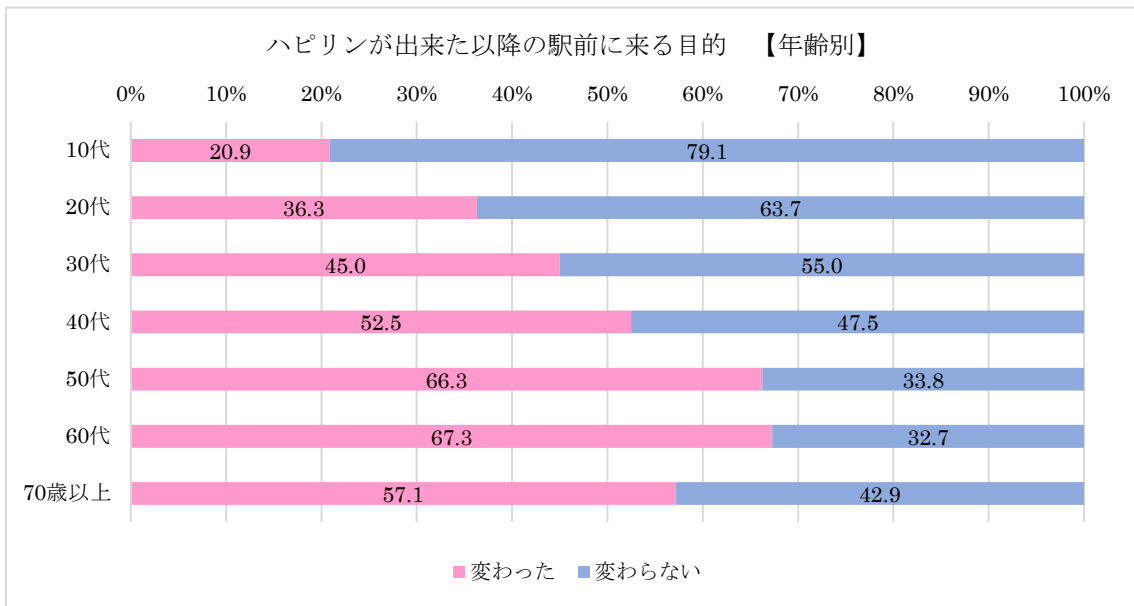
「変わらない」という回答が53.7%、変わったという回答が46.3%。目的は、「ハピリンのイベント目的で来る」という回答が7割以上を占め75.2%。

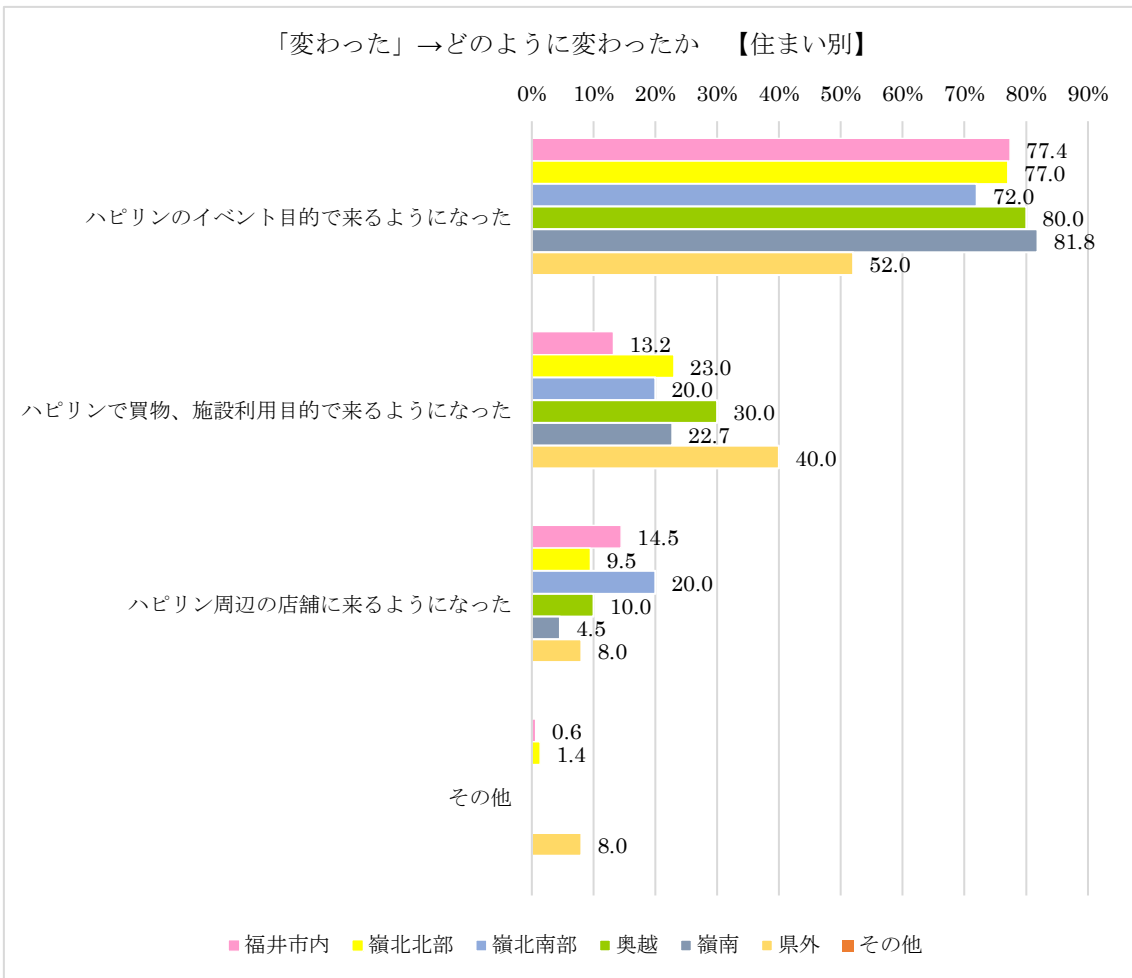
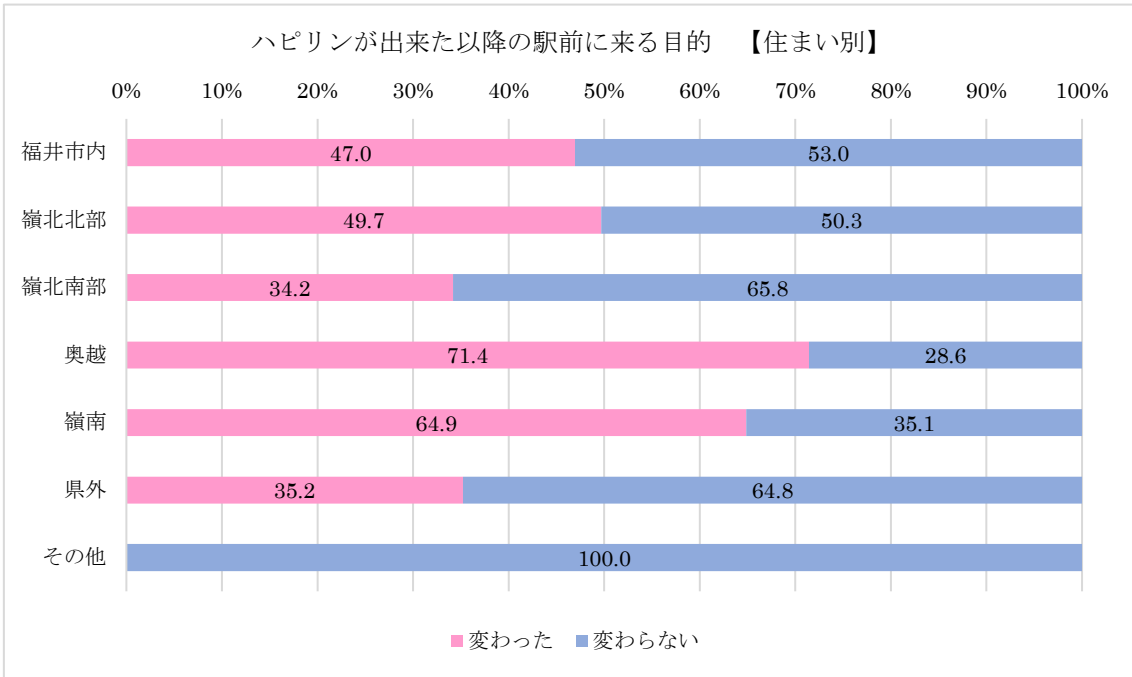
変わらないという回答が53.7%、変わったという回答が46.3%であった。変わったと回答した来場者の内、ハピリンのイベント目的で来るという回答が75.2%と最も多く、全体の7割以上を占めている。次いでハピリンで買物、施設利用目的で来るという回答が19.2%、ハピリン周辺の店舗に来るという回答が12.6%であった。

また、年齢別にみると40代~70歳以上の来場者については変わったという回答がそれぞれ5割以上を占めており、イベント目的で来るという回答は70歳以上の年代を除く全ての年代において6割以上占めた。

更に、住まい別でみると奥越(勝山・大野エリア)からの来場者は7割以上が変わったと回答し、福井県内からの来場者はイベント目的で来るという回答が7割以上を占めた。





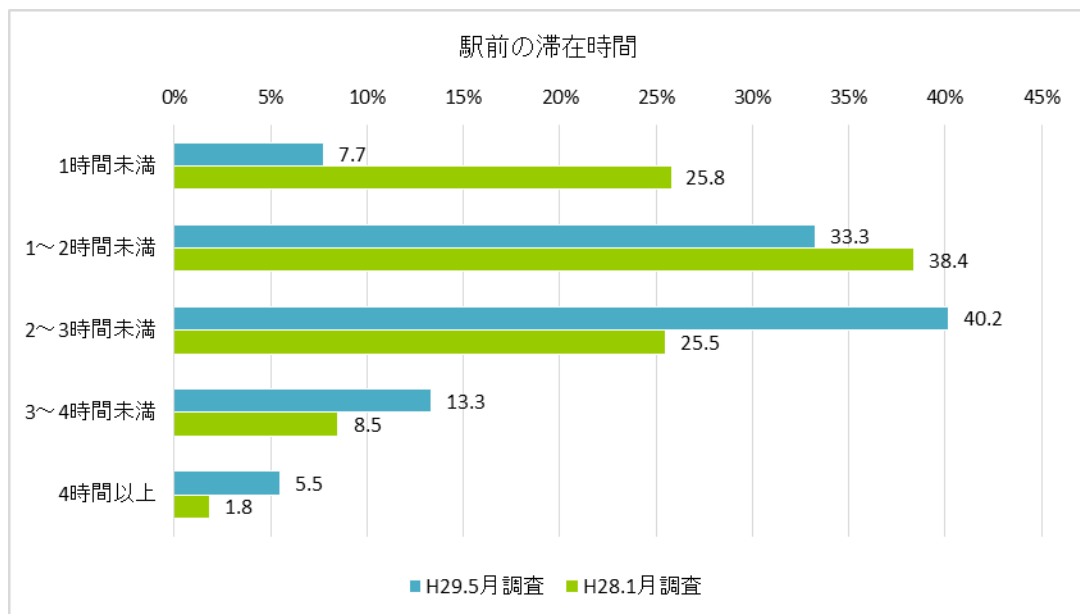
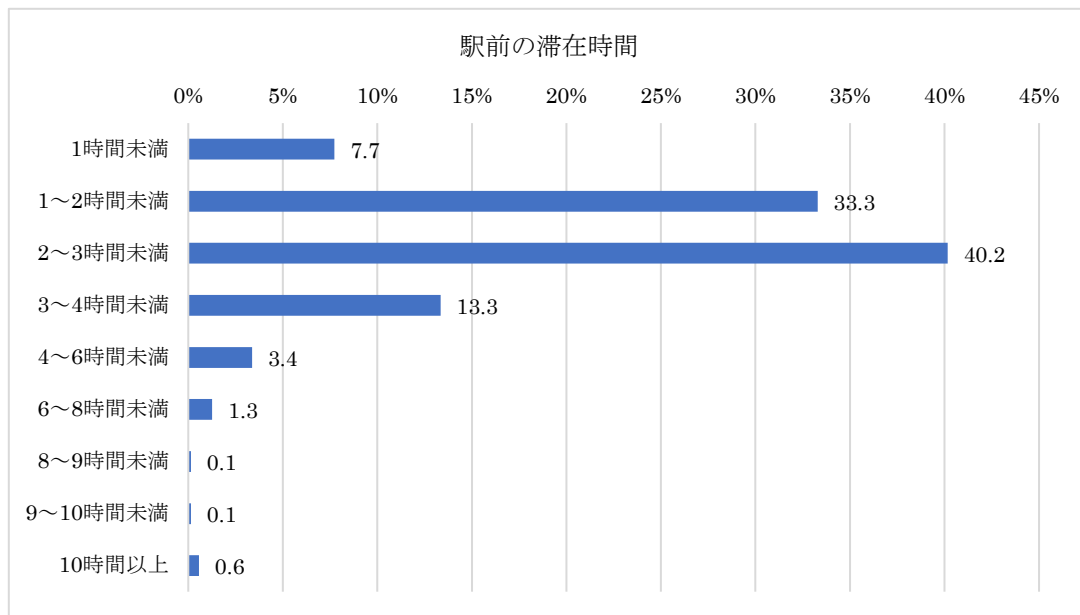


9. 駅前の滞在時間について

滞在時間が4時間までという回答は合計で9割以上を占めた。 前回調査より滞在時間が約1時間の範囲で長くなっている。

駅前の滞在時間については2～3時間未満が40.2%と最も多く、次いで1～2時間未満が33.3%、3～4時間未満が13.3%となっており、滞在時間4時間未満までという回答が全体の約9割を占めている。逆に4時間以上滞在するという回答は合計で約5%であった。

また、平成28年1月に実施した「まちなか好感度・素敵度調査」と比較すると、2～3時間未満という回答は40.2%で、昨年調査時25.5%より14.7ポイント増加した。逆に1時間未満という回答は7.7%となっており昨年調査時の25.8%より18.1ポイント減少しており、駅前の滞在時間が伸びている事が見受けられる。



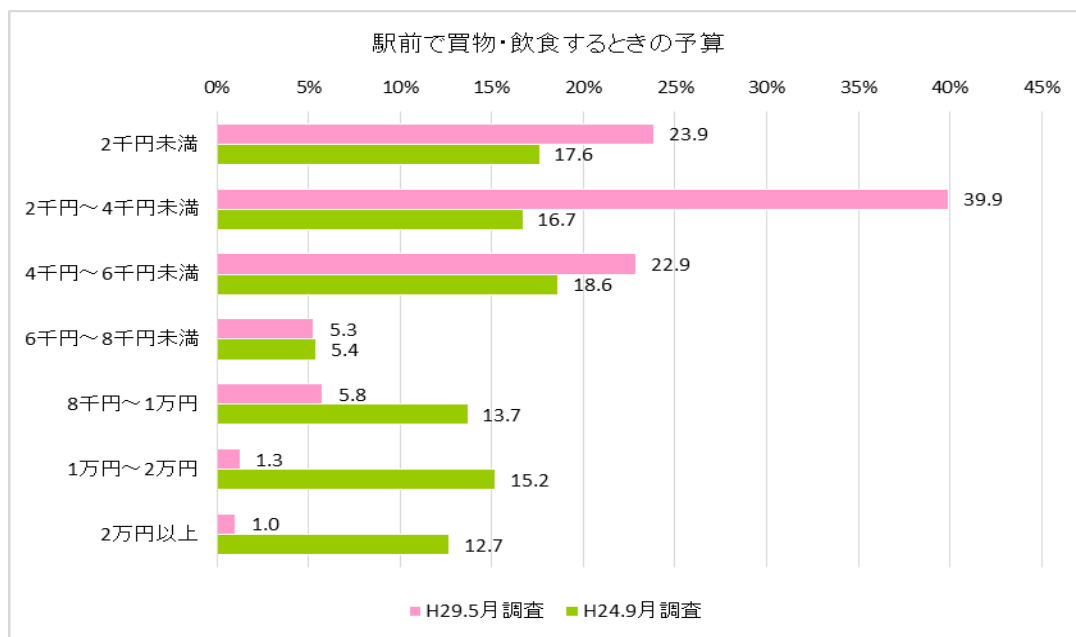
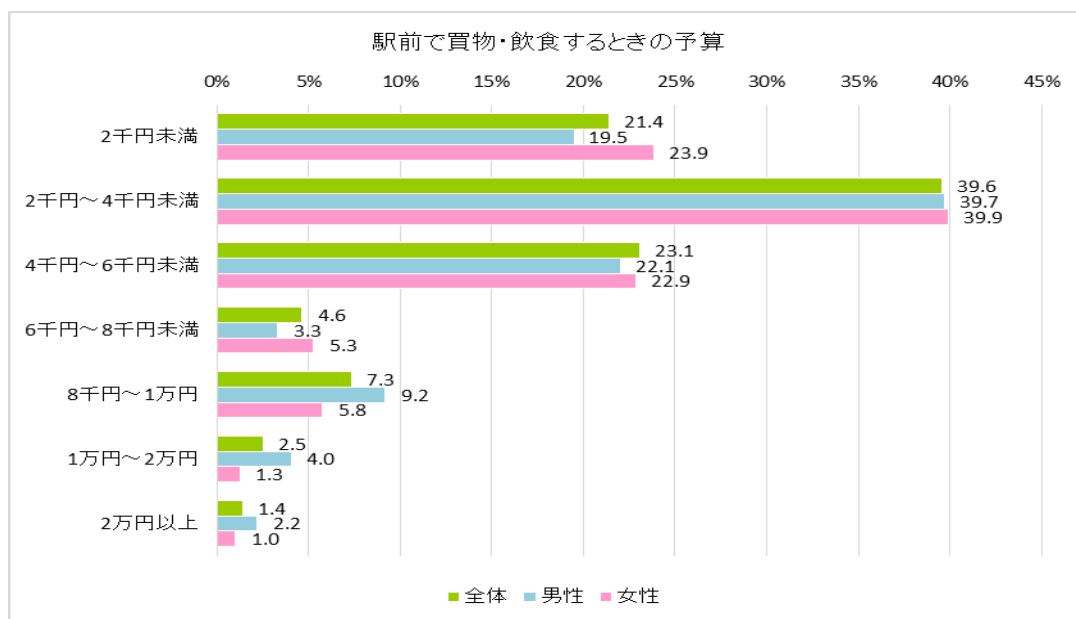
10. 駅前で買物、飲食をするときの予算について

「2千円～4千円未満」が約4割を占め39.6%。消費金額が6千円未満までという回答が8割以上を占めた。

駅前で買物、飲食をするときの予算については、2千円～4千円未満が39.6%と最も多く、次いで4千円～6千円未満が23.1%、2千円未満が21.4%となっている。

男女別で見ると、共に2千円～4千円未満という回答が最も多く、女性が39.9%、男性が39.7%となっており、ほとんど差はなかった。

また、平成24年9月に実施した「消費者購買動向調査」(女性のみが調査対象)と今回調査の女性について比較すると、今回の調査では2千円～4千円未満という回答が39.9%で平成24年調査時の16.7%より23.2ポイント増加している。また、6千円未満までという回答は今回の調査の方が上回っている一方、8千円以上になると平成24年調査時を下回っており、高額な買い物をしなくなっている可能性がある。



11. これからの駅前に望むもの ※自由記入

ファッションに関すること【36件】

- ・イオンのようなショッピングモール（8）
- ・中高校生向けの化粧品、ブランド品、雑貨店（11）
- ・10～30代向けのフォーラスのようなファッションビル（2）
- ・H&M（6） ・ZARA（3） ・BEAMS ・GAP ・Forever21
- ・スポーツ用品店 ・子供向けの服
- ・ファッションビル開発などファッション系に力を入れてほしい

飲食に関すること【14件】

- ・ゆっくりできるカフェ、オープンテラスの店（5）
- ・スターバックス（4） ・マクドナルド ・ファーストフード店
- ・居酒屋など安く飲める場所（3）

商業全般に関すること【5件】

- ・営業時間を延長してほしい（3）
- ・コンセプトがはっきりした建物がほしい。 ・ジャニーズのお店

アミューズメント、娯楽に関すること【16件】

- ・子供や家族連れが遊べる場所が欲しい ・娯楽施設をもう少し増やして欲しい
- ・アミューズメントパーク ・ラウンド1（5） ・スポーツ施設（2）
- ・プール（2） ・ライブハウス ・映画館 ・広いゲームセンター
- ・観覧車に乗りたい（幼児が遊べる所）

駐車場に関すること【33件】

- ・駐車場が必要（15） ・駐車場の無料化（10） ・駐車サービスの充実（4）
- ・駐車場への案内サイン ・駐輪場が必要（2） ・地下駐車場と駅の直結

その他

- ・アオッサ、プリズム、ハピリン、西武などそれぞれを地下道でつなげてほしい。
- ・駅ビルとハピリンとの接続（通路設置）
- ・駅周辺の道路の整備 ・交通機関の充実 ・自動改札機
- ・すぐ見える時計が作れると良い
- ・西武の前に駅を作って欲しい
- ・西武並みのデパート（大和等）
- ・大きなビル→若者向け店舗 ・ファッションビル、マンションよりイオンを建てる
- ・コインロッカーが不足
- ・日陰がほしい（木を増やす）